

阿岐のまほろば

Vol.1

題字は山内吉治理事長の揮毫による

あいさつ

理事長 山内 吉治

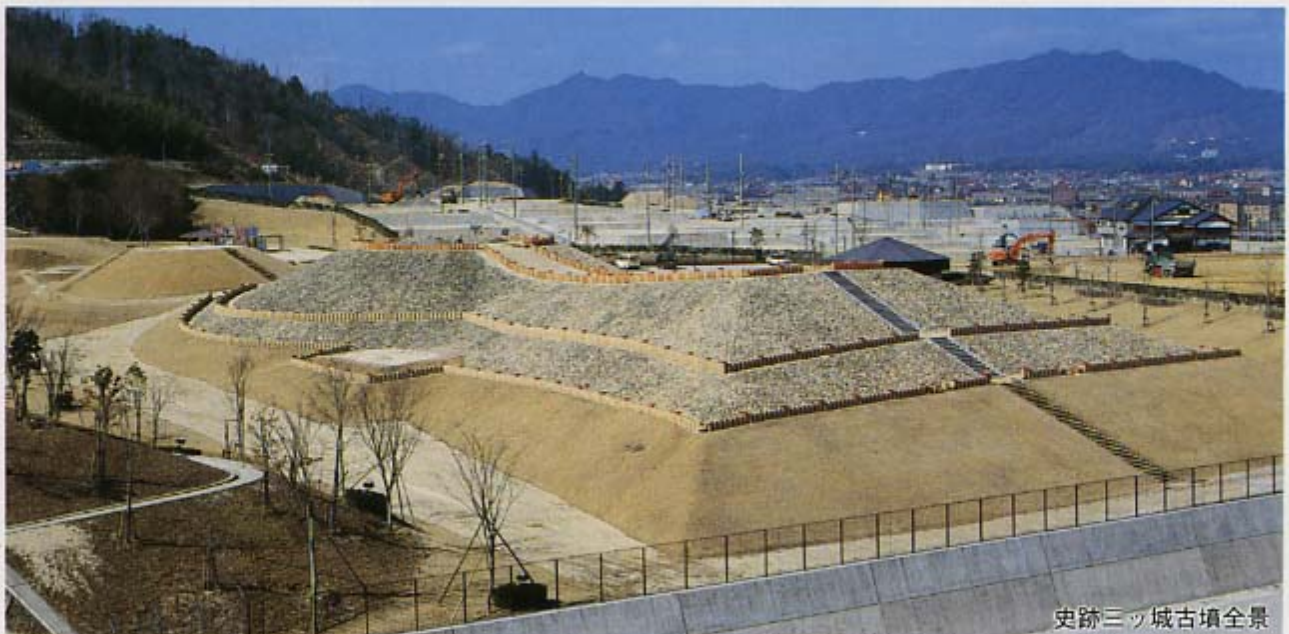
古くから人々が生活を営んできた東広島には、先人たちの足跡ともいえる文化財が数多くあります。特に、土の中に埋もれている埋蔵文化財は、史跡三ツ城古墳をはじめとして、史跡安芸国分寺跡や県史跡鏡山城跡など、いずれもわたしたちの歴史を考える上で貴重な文化遺産です。これを保護し、後世に伝えることは我々の責務であるといえるでしょう。

ところが、本市の発展に伴う各種の開発事業は、これらの遺跡の一部にまで及ぶことが多くなってきました。

そこで東広島市では、発掘調査などの保護措置を行うとともに、これら埋蔵文化財の研究体制を整えるため平成5年4月1日、既存の財団法人東広島市教育文化振興事業団内に文化財センターを設置しました。

埋蔵文化財の発掘調査と保存を適切に進めるためには、多くの人々の理解と協力が必要です。このため、本市の埋蔵文化財の情報を広く市民のみなさまに知っていただきたく、発掘調査速報のかたちでこの冊子を発行することとしました。

このような当センターの活動をととして、東広島歴史の一端をかいまみていただければ幸いです。今後も皆様のご指導とご協力をお願いいたします。



史跡三ツ城古墳全景

財団法人

東広島市教育文化振興事業団

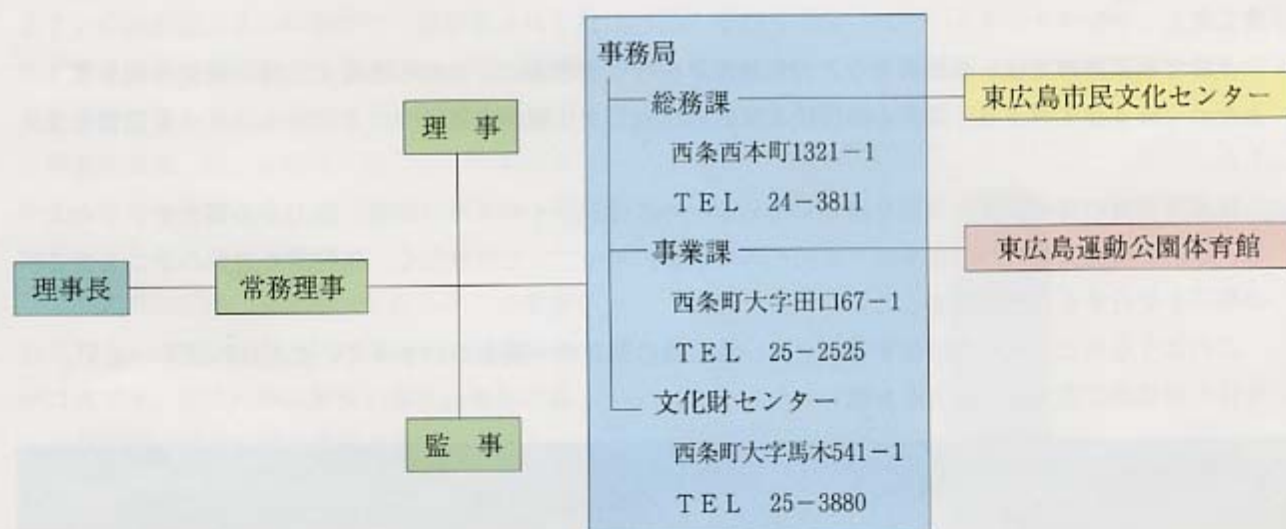
教育・文化及び体育・スポーツの振興に関連する諸事業を行い、市民のみなさまの教育・文化及び体育・スポーツの向上発展に寄与するとともに、心豊かな潤いのある街づくりの推進に資することを目的とした法人です。

平成4年7月、東広島市の出資によって設立されました。

◎組 織

役 員

理 事 10名、 監 事 2名



文化財センターの事業

○文化財に関する調査研究

土の中に埋もれている文化財（埋蔵文化財）を中心とした調査研究を行います。

○文化財に関する資料の収集及び整理保管

文化財に関連した文献資料の収集や、考古資料を中心とした整理保管を行います。

○文化財保護思想の普及啓発

発掘調査現地の見学会や、文化財に関連した図書等の発行を行います。



報告書の作成作業

古墳時代後期の建物跡を発掘

高屋東1号遺跡（高屋町高屋東）



高屋東1号遺跡の作業風景

高屋東1号遺跡は、高屋町高屋東4437に所在していました。住宅団地の造成によって壊されるため、平成5年7月～8月にかけて記録保存を目的とした発掘調査を実施しました。

調査の結果、素掘りの穴に柱を立てた掘立柱建物跡が4棟分見つかりました。これらは斜面を削って造成した上に建てられており、壁や屋根はワラやカヤなどで作られていたようです。また、背面には排水のための浅い溝が掘られていました。

建物跡の柱の間を数えると、2間や3間のものがあり、長方形をなしていたものが目立ちます。最も大きな建物跡は15畳程度の広さです。周囲からは、お椀や脚付きの皿と鍋や蒸器などが出土したことから、住居跡と考えられます。

古墳時代の住居跡は、地面を掘り窪めて屋根を乗せたかたちの竪穴住居跡が推定されていますが、このような形態のものもありました。

時期は、7世紀初頭と推定されます。



高屋東1号遺跡位置図（1:50000）



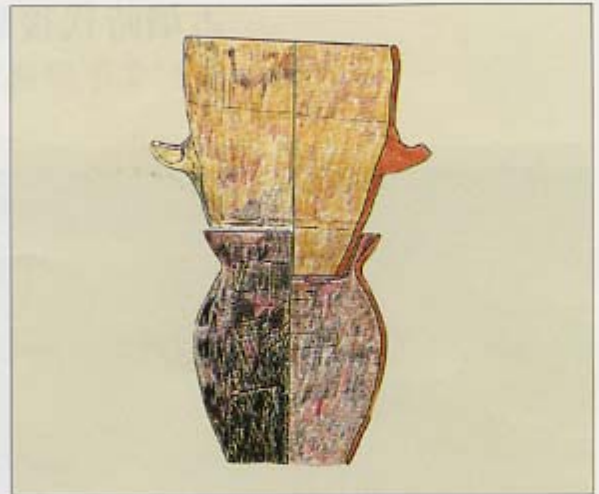
高屋東1号遺跡想像図

出土した鍋と蒸器

高屋東1号遺跡からは、生活用具の鍋と蒸器が出土しました。これらは、土師器と呼ばれる低い温度で焼かれた素焼きの製品で、黄褐色～赤褐色をしています。

鍋は今と違い、深いものです。外側にはよくススが付着していることから、直接火にかけたと考えられます。食物を煮炊きしていたのでしょう。

蒸器は底に大きな穴が開き、両側には牛の角のような太い把手が付いています。底に竹を編んだものを敷き、米などを蒸していました。蒸器を利用するときは鍋の上に据えていたのでしょう。



高屋東1号遺跡出土の鍋と蒸器

トピックス 中世の^{ひとがた}人形が出土！ ～～～～ 西条町寺家（田中遺跡）

田中遺跡は、西条町大字寺家字塚の峠に所在します。歩道新設によって遺跡の一部が壊されるため、平成5年11月に記録保存を目的とした発掘調査を実施しました。

調査の結果、幅2m前後、深さ50cmの溝が見つかり、中から土器とともに、人形（ひとがた）が出土しました。

この人形は、木の枝を削って作られています。長さ13.3cm、幅4.4cm、厚さ2.8cmで、断面はカマボコ状です。幅広の顔に細長い目、三角形の鼻、小さな口がそれぞれ線で表現されています。



田中遺跡位置図(1:50000)

6月と12月の終わり（晦日）にそれまでの災いを祓う大祓いに用いられたものです。人形に息を吹きかけたり、撫でたりして病気を移したもので、その後、溝に流したのでしょう。



田中遺跡出土の人形

☆《阿岐のまほろば》とは？

阿岐は、『先代旧事本紀』巻10（国造本紀）にみられる「阿岐（安芸）国造」から取り、まほろばとは、山に囲まれた広い盆地の意味です。

この東広島市を指す言葉として用いました。

(財)東広島市教育文化振興事業団 文化財センター報

阿岐のまほろば Vol.1

発行日 平成6年 3月 15日

編集・発行 財団法人東広島市教育文化振興事業団 文化財センター
東広島市西条町大字馬木541-1

TEL 0824-25-3880 〒724-05

印刷 今谷印刷株式会社